年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語　　科 目： 論理国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組：川口）（B組：川口）（C組：川口）（D組：川口）（E組：川口）

使用教科書：（ 筑摩書房「論理国語」 ）

教科 国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の社会に必要な母国語としての日本語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「虚ろなまなざし」 岡真理	本文の「主体化」ということばに注意しながら筆者の論旨を把握するとともに、「行動する主体」としての自分自身のふるまいについて、考える。			○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	「物語と歴史のあいだ」 野家啓一	本文を通して「物語」と「歴史」の共通点を理解し、「歴史」を書くことを通して、それがいかに「物語」とつながっているのか、確認する。	○				○	○	○	6
	定期考査			○			○	○		1
	「貨幣共同体」 岩井克人	本文通して、「貨幣共同体」の成り立ちについて学び、その不思議な性質についてどのような表現を用いて説明しているかを読み取る。			○		○	○	○	7
	「物語としての自己」 野口裕二	本文を読み解き、本文で論じられた物語の作用について理解し、人が歴史や自分のアイデンティティを形成する時に「物語」がどのような役割を果たすかを考える		○			○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2学期	「真実の百面相」 大森荘蔵	哲学者である筆者の主張を手がかりに「真実」ということについて考え、重厚な論理を理解するとともに、「誤り」と「虚妄」はどう違うのかを考える。		○		【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	「日本文化私観」 坂口安吾	本文を通して、筆者の主張する独自の「美」に対する見解を読み取るとともに、筆者の主張する「真実の生活」とは何かを理解する。	○				○	○	○	6
	定期考査			○			○	○		1
	「ポピュリズムとは何か」 森本あんり	本文を通して、「ポピュリズム」の特徴や構造を読み取り、その構造の中でことばの力がどのように働いているかを考える。			○		○	○	○	6
	「死の恐怖について」 エリザベス・キューブラー・ロス 鈴木晶訳	本文を通して、具体的な出来事を抽象的な思考へと昇華させたときに見えてくる本質を読み取る。		○			○	○	○	7
	定期考査			○			○	○		1
3学期	共通テスト対策演習	共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。			○	【知識及び技能】 現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	7
	入試問題演習				○		○	○	○	7
										合計 70